

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業		評価者	スポーツ課長 江口 達也	
市民-31 保健体育運営事業		☒ 自治事務	主管課	スポーツ課
		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	スポーツ・レクリエーション	施策の方針	市民スポーツ・レクリエーションの推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	活動団体への指導・援助や、関係団体との協調を図るため。
効果	スポーツ・レクリエーション活動の支援を図る。

2 平成27年度に実施した事業の概要

・関係スポーツ団体の円滑な運営を支援するため補助金を交付した他、団体の組織化や連携を強化した。
・スポーツの分野で活躍した子どもたちを表彰し、より強い意欲を持ってスポーツに取り組めるよう支援した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
人 口	177,464人	177,243人	人 口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
世 帯 数	80,368世帯	80,676世帯	世 帯 数	80,928世帯	
事業の対象者数			事業の対象者数		
決算値(千円)	8,906	8,947	当初予算(千円)	9,878	
国県支出金			国県支出金		
地方債			地方債		
その他			その他		
一般財源	8,906	8,947	一般財源	9,878	
人員配置数	1.8	1.3	人員配置数	1.3	
人件費(千円)	13,592	10,010	人件費(千円)	10,131	
総事業費(千円)	22,498	18,957	総事業費(千円)	20,009	
市民1人当りの経費(円)	127	107	市民1人当りの経費(円)	113	
対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない		
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない		
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある		
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない		
有 効 性	今後も市が実施すべき事業か	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、今後も市が実施する必要がある		
	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
公 平 性	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している		
	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない	
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済	協働実施済の場合のパートナー 体育協会、レクリエーション協会	
	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済	協働実施済の場合のパートナー 体育協会、レクリエーション協会	
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他	見直しの内容	事業へ統合
	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由		
総評(評価に対する考え方、根拠等)	平成26年3月に改定したスポーツ振興基本計画の目標であるスポーツ実施率60%を目指し遂行していくとともに、本市のスポーツ・レクリエーション活動の普及・振興のため、スポーツ関係団体との連携を強化する。また、スポーツ推進委員が地域のスポーツ振興に重要な役割を果たすことから、今後も支援のあり方や質の向上に向けた取り組みを図っていく。			

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	体育協会・レクリエーション協会との役割分担や支援のあり方の見直しと、スポーツ推進委員の更なる質の向上。		
課題解決のために行った平成27年度の取組	・関係団体への指導・援助の充実や、団体の組織化や連携の強化を図った。 ・スポーツの分野で活躍する子どもたちを表彰し、より強い意欲を持ってスポーツに取り組めるよう支援した。	☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決	
未解決の課題、新たな課題とその理由	本市のスポーツ・レクリエーション活動の普及・振興には、各協会との連携が重要である。また、地区スポーツ振興会・スポーツ推進委員が地域のスポーツ振興に重要な役割を果たすことから、今後も支援のあり方や質の向上に向けた取り組みが必要である。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	体育協会、レクリエーション協会加盟人数					単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	体育協会、レクリエーション協会など関係団体への指導・援助の充実等、保健体育全般に関わる事業を行う。		
目標値	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000			
実績値	11,987	11,970								
達成率	85.6%	85.5%								
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
目標値										
実績値										
達成率										
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
目標値										
実績値										
達成率										
当該事業実施に伴う 指標の推移に関する 考え方										

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☒ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	--